

2019年1月27～29日

世論調査（日経）、党首会談、野党共闘、下村発言

北方領土決着前の条約「結んでもいい」42% 「結ぶべきではない」46% 本社世論調査

2019/1/27 19:30 情報元日本経済新聞 電子版

日本経済新聞社の25～27日の世論調査で、北方領土問題の決着前に平和条約を「結んでもいい」と答えた層は42%だった。「結ぶべきではない」は46%だった。日本政府はこれまで「領土問題を解決し、平和条約を締結する」との基本方針を掲げてきた。昨年11月の世論調査では「結んでもいい」が43%、「結ぶべきではない」が45%だった。安倍晋三首相とロシアのプーチン大統領は1956年の日ソ共同宣言を基礎とした平和…

北方領土決着前の条約「結んでもいい」42% 「結ぶべきではない」46% 本社世論調査

2019/1/27 19:30 情報元日本経済新聞 電子版

日本経済新聞社の25～27日の世論調査で、北方領土問題の決着前に平和条約を「結んでもいい」と答えた層は42%だった。「結ぶべきではない」は46%だった。日本政府はこれまで「領土問題を解決し、平和条約を締結する」との基本方針を掲げてきた。昨年11月の世論調査では「結んでもいい」が43%、「結ぶべきではない」が45%だった。安倍晋三首相とロシアのプーチン大統領は1956年の日ソ共同宣言を基礎とした平和…

衆参同日選 賛成46%、反対29%

2019/1/27 19:30 情報元日本経済新聞 電子版

日本経済新聞社の世論調査で、夏の参院選にあわせた衆院解散と衆参同日選挙について聞いたところ、賛成は46%、反対は29%だった。自民党支持層では賛成は53%に上った。自民党内には夏の参院選を巡って大勝した2013年の反動で議席が減る懸念を指摘する向きもあり、一部に同日選への期待の声があった。自民党支持層の反対は26%だった。…

政府統計「信用できない」79% 本社世論調査 内閣支持率は53%

2019/1/27 18:00 情報元日本経済新聞 電子版

日本経済新聞社とテレビ東京による25～27日の世論調査で、安倍内閣の支持率は53%と昨年12月の前回調査から6ポイント上昇した。不支持率は7ポイント低下し37%だった。厚生労働省による毎月勤労統計の不適切調査問題を受け、政府統計の信頼性を聞いたところ「信用できない」が79%で「信用できる」は14%だった。

【関連記事】韓国レーダー照射「強い対応を」62% 本社世論調査

政府統計を「信用できない」と…

2019/1/27 日経新聞

日経新聞世論調査

あなたは安倍内閣を支持しますか、しませんか。

53% 支持する

37% 支持しない

10% いえない・わからない

政党支持率

43% 自民党

9% 立憲民主党

1% 国民民主党

4% 公明党

4% 共産党

2% 日本維新の会

1% 社民党

33% 支持(好意)政党なし

4% いえない・わからない

参院選で投票したい政党

夏の参院選で、あなたが投票したい政党、または投票したい候補者がいる政党はどこですか。ひとつだけお答え下さい。

41% 自民党

12% 立憲民主党

1% 国民民主党

5% 公明党

4% 共産党

2% 日本維新の会

1% 自由党

1% 社民党

1% その他の政党

20% まだ決めていない

13% いえない・わからない

衆参同日選挙について

夏の参院選に合わせて衆院を解散し、衆参同日選挙にするとの見方があります。あなたは衆参同日選挙について賛成ですか、反対ですか。

46% 賛成だ

29% 反対だ

14% どちらともいえない

11% いえない・わからない

安倍首相に期待する政策について

安倍首相にどのような政策を期待しますか。次の7つからいくつでもお答え下さい。

42% 景気回復

31% 財政再建

48% 社会保障の充実

30% 教育の充実

34% 外交・安全保障

11% 憲法改正

17% 政治・行政改革

1% その他

6% いえない・わからない

北方領土問題の進展について

安倍首相はロシアのプーチン大統領と平和条約交渉を進める方針を示しています。あなたは安倍首相の在職中に北方領土問題が進展すると思いますか、思いませんか。

- 18% 進展すると思う
- 76% 進展するとは思わない
- 2% どちらともいえない
- 5% いえない・わからない

北方領土問題について

あなたは北方領土問題をどう決着させるべきだと考えますか。

- 27% 4島の一括返還
- 41% 歯舞、色丹の2島をまず先に返還
- 11% 歯舞、色丹の2島だけの返還
- 10% 返還を求めない
- 11% いえない・わからない

北方領土問題決着前のロシアとの平和条約

あなたは北方領土問題が決着する前にロシアと平和条約を結ぶことについてどう考えますか。

- 46% 決着する前に平和条約を結ぶべきではない
- 42% 決着する前に平和条約を結んでもいい
- 3% どちらともいえない
- 9% いえない・わからない

政府発表の統計について

厚生労働省の「毎月勤労統計」で不適切な調査を続けてきたことが明らかになりました。あなたは政府の発表する統計を信用できますか、できませんか。

- 14% 信用できる
- 79% 信用できない
- 3% どちらともいえない
- 4% いえない・わからない

韓国のレーダー照射問題への日本政府の対応

海上自衛隊の航空機が韓国の軍艦から射撃用のレーダーを照射された問題を巡り、日本政府は韓国に抗議しています。日本政府は今後、どう対応すべきだと思いますか。

- 62% もっと強い対応をとるべきだ
- 24% 静観すべきだ
- 7% もっと韓国側の主張を聞くべきだ
- 1% その他
- 6% いえない・わからない

新元号を4月1日公表について

安倍首相は5月1日の新天皇即位の際に改める新元号を、1カ月前の4月1日に公表すると表明しました。あなたはこの対応を評価しますか、しませんか。

- 69% 評価する
- 21% 評価しない
- 5% どちらともいえない
- 5% いえない・わからない

2019年01月 回答者数 990人

野党、参院選「1人区」で候補一本化＝「消費税」含め政策協議

時事通信 2019年01月28日 19時41分

立憲民主、国民民主など主要野党は28日の党首会談で、夏の参院選に向け、全国に32ある改選数1の「1人区」で候補者を一本化する方針を確認した。共闘の旗印となる政策面での合意を目指し、候補者調整と併せて協議することでも一致した。

会談には、立憲、国民、共産、自由、社民、衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」が出席。立憲、国民両党はこれまで共産との政策協議に慎重だったが、柔軟姿勢に転じた。

背景には、山梨県知事選での野党候補の敗北がありそうだ。立憲の枝野幸男代表は28日、知事選結果について「大変残念だ」と表明。共産の志位和夫委員長は「結束すれば違った結果が作り得たが、山梨はできなかった」と悔やんだ。

政策協議では、消費税や原発政策が焦点となる。共産は、消費税増税反対での合意を目指す、「国民会議」代表の野田佳彦前首相は政権時代から一貫して消費税増税の必要性を訴えてきた。「原発ゼロ」に関しても、立憲が重視する一方、電力系労組の支援を受ける国民民主党議員の反発も予想され、温度差がある。

全1人区一本化へ協議＝5野党党首が合意

時事通信 2019年01月28日 11時27分



野党党首会談に臨む各党党首、幹事長ら＝28日午前、国会内

立憲民主、国民民主、共産、自由、社民の5野党党首が28日午前、国会内で会談した。夏の参院選に向け、改選数1の1人区での候補者一本化を目指し、速やかに協議に入ることを確認。厚生労働省による毎月勤労統計の不正調査問題の全容解明を目指す方針でも一致した。

会談には、衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」代表の野田佳彦前首相も出席し、4項目の合意文書を交わした。共産党の志位和夫委員長は席上、参院選の候補者調整に併せて、野党間の政策協議を始めることを提案、了承された。（

立民、野党候補一本化「早急に」 国民と主導権争いも

2019/1/29 19:14 共同通信社

立憲民主党の福山哲郎幹事長は29日の記者会見で、夏の参院選に向けた改選1人区での野党候補一本化の調整について「早急に進めたい」と意欲を示した。野党6党派の幹事長レベルで協議する構えだ。ただ立民は国民民主党と参院の国会運営などを巡り主導権争いを演じており、順調に進むかどうかは見通せない。

野党6党派は28日の党首会談で、全国32の1人区で「速やかに候補者一本化のための調整を図る」と文書で合意した。これまで国民や共産党が野党の選挙協力に関する迅速な話し合いを促していたのに対し、立民は「4月の統一地方選後まで待つべきだ」との考えを示していた。

統計不正、野党6党派が連携確認 国会で追及

2019/1/28 11:47 共同通信社



国会内で会談に臨む野党6党派の党首ら。中央は立憲民主党の枝野代表＝28日午前

立憲民主、国民民主など野党6党派の党首らは28日午前、国会内で会談し、通常国会で連携して毎月勤労統計の不正問題の全容解明へ政府を追及する方針を確認した。夏の参院選の改選1人区での候補者一本化へ調整作業を加速することも合意した。

会談には国民、立民のほか共産、自由、社民各党と衆院党派「社会保障を立て直す国民会議」が出席。「安倍政権打倒」を目指し、内外の課題について国会で徹底審議することも申し合わせた。

立民の辻元清美国対委員長は党首会談に先立ち野党の国対委員長らと会談し、自民党の森山裕国対委員長が毎月勤労統計の不正調査問題についての26日の発言を批判した。

野党党首会談、1人区の本化で合意 参院選「共闘」はなお定まらず

日経新聞 2019/1/29 2:00

立憲民主党や国民民主党、共産党など野党6党派の党首は28日、国会内で会談した。夏の参院選に向け、全国32ある改選定数1の1人区で候補者の一本化を図る方針で合意した。乱れがちな各党の足並みをそろえるため、安倍政権の打倒という共通目標も確認した。



野党6党派の党首が会談した(1月28日、国会内)

立民の枝野幸男代表は会談後、記者団の前で「通常国会において野党5党1会派が協力連携を強める」などの合意事項を読み上げた。

合意は、厚生労働省による毎月勤労統計の不適切調査の全容解明に向けて連携する方針を盛り込み「安倍政権の打倒」をめざして厳しく対峙する姿勢も確認した。今後、各党の幹事長・書記局長で具体策を協議する。

参院選の1人区は、野党の候補者が乱立すれば政権批判票が割れて与党が有利になる。候補者の一本化は共倒れを避けるためだ。前回の2016年参院選でも当時の野党4党は1人区で候補を統

一した。党首間で「安全保障関連法の廃止」や「安倍政権の打倒」などを確認したうえで、共産党は香川を除き候補者を取り下げた。今回も、参院選前に改めて16年の野党合意を一部修正した政策に関する合意を策定し、安民法廃止を主張する市民団体を交え確認する方向だ。

ただ、1人区以外での野党共闘はなお定まっていない。28日の会談でも言及はなかった。改選定数2以上の複数区や比例代表については、枝野氏が「切磋琢磨(せっさたくま)する」と言明しているためだ。

国民民主党や自由党は1人区の候補者調整だけでは不十分と主張する。16年参院選は野党が一本化した1人区でもなお勢いが広がらず、11勝21敗と負け越した。自由党の小沢一郎共同代表は28日の民放番組で「一本化だけでは勝てない。最低でも比例名簿と一緒に、一番良いのは全部一緒になることだ」と指摘した。通常国会の共闘は参院選での協力を左右する試金石になる。足元では国民民主党と自由党が参院で統一会派を組み、立民との野党第1会派争いが激しくなっている。国民民主党は立民への移籍を申し出た藤田幸久氏の離党届を受理していない。社民党の又市征治党首は「離党届問題を引っ張るのは共闘にそぐわない」と苦言を呈した。

全1人区、一本化図る 参院選、野党6党派党首が合意

2019/1/29 付情報元日本経済新聞 朝刊

立憲民主党や国民民主党、共産党など野党6党派の党首は28日、国会内で会談した。夏の参院選に向け、全国32ある改選定数1の1人区で候補者の一本化を図る方針で合意した。乱れがちな各党の足並みをそろえるため、安倍政権の打倒という共通目標も確認した。

立民の枝野幸男代表は会談後、記者団の前で「通常国会において野党5党1会派が協力連携を強める」などの合意事項を読み上げた。

合意は、厚生労働省による毎月勤労…

参院選 1人区一本化へ 野党6党派が合意 統計不正解明に連携

毎日新聞 2019年1月29日 東京朝刊



主要野党を巡る相関図

立憲民主党など野党6党派の党首らは28日、国会内で会談し、厚生労働省による「毎月勤労統計」の不正調査問題の全容解明に

向けて連携して取り組むことで一致した。夏の参院選で32ある改選数1の「1人区」で候補者を一本化することも合意した。ただ、野党内の主導権争いに歯止めはかかっておらず、政府追及を足がかりに歩調をそろえられるかが問われることになる。【小田中大、遠藤修平】

会談には、立憲の他、国民民主、共産、自由、社民の4党と衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」が参加…残り549文字（全文782文字）

野党6党派、統計不正「全容解明」で連携確認

毎日新聞2019年1月28日20時18分(最終更新1月28日21時22分)



野党党首会談を終えて国民民主党の玉木雄一郎代表（奥右端）らと握手する立憲民主党の枝野幸男代表（奥右から2人目）。左端は自由党の小沢一郎共同代表＝国会内で2019年1月28日午前10時47分、川田雅浩撮影

立憲民主党など野党6党派の党首らは28日、国会内で会談し、厚生労働省による「毎月勤労統計」の不正調査問題の全容解明に向けて連携して取り組むことで一致した。夏の参院選で32ある改選数1の「1人区」で候補者を一本化することも合意した。ただ、野党内の主導権争いに歯止めはかかっておらず、政府追及を足がかりに歩調をそろえられるかが問われることになる。【小田中大、遠藤修平】

会談には、立憲の他、国民民主、共産、自由、社民の4党と衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」が参加した。安倍政権打倒を目指し、通常国会では特に「毎月勤労統計」問題に力点を置いて徹底審議する方針を確認。参院選の1人区での共闘も政党間で初めて公式に合意し、立憲の枝野幸男代表は会談後の党合会で「安倍政権の政治に終止符を打ちたいという声を集結したい」と述べた。

これに先立つ野党国対委員長会談では、与党側に補正予算案や来年度予算案に先んじた集中審議の開催を要求し、根本匠厚生労働の責任を追及することも確認した。

ただ、野党が結束していけるかは予断を許さない。国民と自由の統一会派の結成を受け、参院では国民が中心となる会派と立憲が中心となる会派で野党第1会派争いが勃発。国民、自由と立憲との溝は深まりつつある。

さらに、28日の国民と自由の合同会合では、国民の階級衆院議員が自由の小沢一郎共同代表の目の前で「大義が見えない。立憲との溝が深まって（野党の）大きな塊から遠ざかっている」と公然と批判するなど、国民、自由の中でも火種も抱えている。

また、党首会談では、共産党の志位和夫委員長が参院選での政策協議の実施を呼びかけ、合意を取り付けた。しかし、立憲などは野党共闘を支援する市民グループ「市民連合」を介した形を模索しているのに対し、共産は政党間の政策協定締結を求めており、参院選戦略では思惑にずれもある。

JNN1月28日15時07分

野党6党派 参院選1人区候補者一本化へ

立憲民主党など野党5党1会派が党首会談を行い、夏の参議院選挙で定数1の選挙区の候補者一本化に向けて調整を進めることなどで合意しました。

通常国会が召集された28日、立憲民主党や国民民主党、共産党など野党5党1会派の党首らが国会内で会談。厚生労働省の統計不正調査問題について徹底した審議を求めるなど、政府に厳しく対峙していく方針で一致しました。また、夏の参院選に向け、定数1の選挙区で候補者を一本化する調整を行うことでも合意しました。

「32の1人区全ての選挙区において、与党を利することのないよう、速やかに候補者一本化のための調整を図ること、こうしたことについて5党1会派で完全に一致をさせていただきました」（立憲民主党 枝野幸男代表）

立憲民主党の枝野代表は、「力を最大限発揮して安倍政権を倒し、国民と時代の要請に応えたい」と意気込みを見せました。

“打倒安倍政権”…野党共闘へ足並みそろろうかカギ

ANN2019/01/28 11:48

野党側は、厚生労働省の毎月勤労統計に不正があった問題を国会論戦の最大の焦点に据えて攻勢を強める構えです。

（政治部・中丸徹記者報告）

立憲民主党や国民民主党など野党は党首会談を行い、夏の参議院選挙に向けて連携して安倍政権に対抗していく方針を確認しました。

立憲民主党・枝野代表：「国会の国権の最高機関としての機能を取り戻し、国民の生活を豊かにし、権利を守るため安倍政権打倒を目指し、厳しく対峙（たいじ）していく」

国会論戦では、7年目に入ったアベノミクスで生まれたゆがみや格差など負の側面を強調したい考えです。特に毎月勤労統計の不正問題では、発覚後の職員に対する調査の方法や予算案の閣議決定がやり直しになったことを追及する方針です。そのうえで、予算委員会での集中審議や根本厚生労働大臣の罷免（ひめん）などを求める方針です。参議院選挙に向けては1人区で野党が候補者を一本化することで合意しましたが、具体的な調整はこれから課題は山積です。立憲民主党と国民民主党の主導権争いが激しくなるなか、参議院選挙までいかに足並みをそろえられるかが問われています。

しんぶん赤旗2019年1月29日(火)

参院選1人区一本化で合意 野党5党・1会派が党首会談 書記局長・幹事長間で早急に協議、具体化進める

日本共産党の志位和夫委員長、立憲民主党の枝野幸男代表、国民民主党の玉木雄一郎代表、社会保障を立て直す国民会議の野田佳彦代表、自由党の小沢一郎代表、社民党の又市征治党首は、通常国会開会の28日、党首会談を国会内で行いました。野党5党・1会派は、安倍政権打倒をめざし、「毎月勤労統計」問題の全容解明や内政・外交課題の徹底審議など国会での協力・連携を強めるとともに、夏の参院選では全国32の1人区のすべてで候補者を一本化するために、各党の書記局長・幹事長間で早急に具体化の協議を進めることで合意しました。

安倍政権打倒で結束



(写真) 5野党1会派による

野党党首会談。中央左は志位和夫委員長＝28日、国会内会談では、志位氏が、参院選での候補者一本化の協議をするうえで、「市民連合」と各党が行った合意をふまえ、政策問題の協議も進めていくことを提起し、各党・会派で確認されました。

志位氏は会談後の記者会見で、「安倍政権打倒をめざし、32の1人区すべてで一本化を図る。そして、その具体化のための協議を早急に開始するという内容が入ったことは大変に重要な前進だ」と強調。「わが党としては本気の共闘をめざして力を尽くす」と表明しました。

会談には、日本共産党の小池晃書記局長、各党の幹事長などが同席しました。

野党党首会談合意事項

野党党首会談（28日）の「合意事項」（全文）は次の通りです。

2019年1月28日

野党党首会談合意事項

立憲民主党、国民民主党、日本共産党、社会保障を立て直す国民会議、自由党、社会民主党は、党首会談において以下について合意した。

○本通常国会において、野党5党1会派は協力連携を強め、立憲主義の回復や、また国会の国権の最高機関としての機能を取り戻し、国民の生活を豊かにし権利を守るため、安倍政権打倒をめざし厳しく対峙（たいじ）していく。

○内政・外政の山積する課題について徹底審議を行う。

○「毎月勤労統計」問題についての全容解明を行う。

○今夏の参議院選挙に際し、安倍政権打倒をめざし、32の1人区全ての選挙区において、与党を利することのないよう、速やかに候補者一本化のための調整を図る。

野党5党1会派の幹事長・書記局長は、これらの確認事項の目的を達成するために、早急に協議し、その具体化を進める。

立憲民主党 2019年01月28日 14:33

野党5党1会派党首会談で野党の協力連携強めることを確認

立憲民主党、国民民主党、日本共産党、社会保障を立て直す国民会議、自由党、社会民主党の野党5党1会派は第198回通常国会開会日の28日午前、国会内で党首会談を開催。枝野幸男代表は会談後、以下4点について合意したと報告しました。



○本通常国会において、野党5党1会派は協力連携を強め、立憲主義の回復や、また国会の国権の最高機関としての機能を取り戻し、国民の生活を豊かにし権利を守るため、安倍政権打倒をめざして厳しく対峙（たいじ）していく。

○内政・外政の山積する課題について徹底審議を行う。

○「毎月勤労統計」問題についての全容解明を行う。

○今夏の参議院選挙に際し、安倍政権打倒をめざし、32人の1人区全ての選挙区において、与党を利することのないよう、速やかに候補者一本化のための調整を図る。

これらの確認事項の目的を達成するために、野党5党1会派の幹事長・書記局長は早急に協議し、その具体化を進めることとしました。

野党党首会談合意事項 1月28日.pdf

【野党党首会談】「野党はしっかりと力をあわせていきたい」玉木代表

国民民主党ニュース 2019年1月28日



国民民主党、立憲民主党、日本共産党、社会保障を立て直す国民会議、自由党、社会民主党の野党5党1会派の代表・党首らが28日午前、国会内で会談し、以下について合意した。

本通常国会において、野党5党1会派は協力連携を強め、立憲主義の回復や、また国会の国権の最高機関としての機能を取り戻し、国民の生活を豊かにし権利を守るため、安倍政権打倒をめざし厳しく対峙してしていく。

内政・外政の山積する課題について徹底審議を行う。

「毎月勤労統計」問題についての全容解明を行う。

今夏の参議院選挙に際し、安倍政権打倒をめざし、32の1人区全ての選挙区において、与党を利することのないよう、速やかに候補者一本化のための調整を図る。

野党 5党1会派の幹事長・書記局長は、これらの確認、事項の目的を達成するために、早急に協議し、その具体化を進める。

◆
玉木代表は野党党首会談終了後に記者団の取材に応じ、「通常国会のスタートダッシュとして、野党はしっかりと力をあわせていきたい。特に『毎月勤労統計』問題だけではなく、他の基幹統計にも同じような問題が生じている。一般の統計についても調べていかないといけない。国家の根幹を揺るがすような問題に発展する可能性がある。そもそも一度決定した予算案を修正する前代未聞のことが起こった。看過できない問題だ。各党力をあわせて厳しく取り組んでいく」と語った。



記者団の質問に答える玉木代表

参院選協力へ党首会談 野党幹事長らが合意

FNN2019年1月22日 火曜 午後9:31



立憲民主党など野党6党派の幹事長らが22日午後、国会内で会談し、夏の参議院選挙での協力体制などについて協議するため、週内にも党首会談を行うことで合意した。

立憲民主党の福山幹事長は、「参院選に向けて、どのような形で野党がまとまっていくのかについても、党首会談に委ねていきたい」と述べた。

野党5党と衆議院の会派「社会保障を立て直す国民会議」は、幹事長・書記局長会談を行い、参院選での協力体制や、28日に召集される通常国会での連携について協議するため、党首会談を開くことで一致した。

25日午後の開催を軸に最終調整するという。

党首会談では、参院選について、32ある1人区で候補者を一本化する方向性を確認し、政策面での共闘の旗印を示す見通し。

野党6党派の党首ら会談 政権打倒目指し厳しく対じする方針

NHK2019年1月28日 11時30分



立憲民主党など野党6党派の党首らが会談し、通常国会では、安倍政権の打倒を目指して厳しく対じしていくとともに、夏の参議院選挙に向けて、「1人区」で候補者を一本化するため、速やかに調整を図ることで合意しました。

立憲民主党、国民民主党、共産党、自由党、社民党、衆議院の会派「社会保障を立て直す国民会議」の野党6党派の党首らが会談し、今後の対応を協議しました。

会談では、28日召集された通常国会では野党6党派が連携を強め、厚生労働省の統計調査の問題の全容解明に向けて、徹底した審議を求めるなど、安倍政権の打倒を目指して厳しく対じしていく方針を確認しました。

また、ことし夏の参議院選挙に向けて、与党を利することのないよう、全国に32ある定員が1人のすべての「1人区」で候補者を一本化するため、速やかに調整を図ることで合意しました。

会談のあと、立憲民主党の枝野代表は記者団に対し「今後、野党6党派の幹事長・書記局長が、確認事項の目的を達成するため早急に協議し、具体化を進めていくことで合意した」と述べました。

参院選 1人区の強化を 首相

NHK2019年1月28日 22時36分



選挙

安倍総理大臣は自民党の役員会で、通常国会では新年度予算案の年度内成立を目指す考えを強調するとともに、夏の参議院選挙に向けて特に接戦が見込まれる「1人区」の対策を強化するよう指示しました。

倍総理大臣は28日召集された通常国会について、「今年度の第2次補正予算案の早期成立と新年度予算案の年度内成立が最大の景気対策だ。教育の無償化も進めていく。結果を出し、堂々と主張を展開していきたい」と述べました。

また山梨県知事選挙で自民・公明両党が推薦した候補が当選したことについて「党一丸となった結果だ。大切なことは最後まで諦めないことだ」と指摘しました。

そのうえで、夏の参議院選挙に向けて、特に接戦が見込まれる定員が1人の「1人区」の対策を強化するよう指示しました。

このあと二階幹事長は記者会見で「山梨県知事選挙は厳しい戦いだったが、まさに総力戦でつかんだ勝利だ。さい先のよいスタートに違いないが、安心せず、謙虚に一丸となって頑張っていく」と述べました。

国民 階憲法調査会長 自由との連携強化方針を批判

NHK2019年1月28日 13時55分



国民民主党と自由党が統一会派を結成したことについて、国民民主党の階憲法調査会長は、党の代議士会で、「大義がないどころかマイナスのほうが大きい」と述べ、自由党と連携を強化する方針を批判しました。

続きを読む

この中で、国民民主党の階憲法調査会長は、自由党と統一会派を結成したことについて、『中道改革政党』という党の基本理念が見えなくなっている。自由党との統一会派をきっかけに、むしろ立憲民主党との距離が開いており、大義がないどころかマイナスのほうが大きい」と述べ、自由党と連携を強化する方針を批判しました。

これに対し、玉木代表は「大きな塊を作るための阻害要因になってはいけない。あくまで、第一歩の取り組みで、各党・各会派と引き続き協議し、距離があくようなことがないよう最大限の努力をしたい」と述べました。

野党6党派が勤労統計問題の合同集会で気勢

産経デジタル 2019/01/29 15:43

立憲民主、国民民主、共産、自由、社民5党と衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」は29日、「毎月勤労統計」の不適切調査問題の真相究明を求める合同集会を国会内で開いた。各党幹部は安倍晋三政権の責任追及に向けて結束を確認した。

立憲民主党の辻元清美国対委員長は「(安倍政権は)公文書を改竄(かいざん)して統計も不正だった。政治の土台が壊れてしまう。責任をしっかりとらせないといけない」と訴えた。国民民主党の原口一博国対委員長は「アベノミクス自体が偽装だ」と強調し、根本匠厚生労働相の辞任を求める考えを示した。

共産党の穀田恵二国対委員長は「不正の温床を築いてきたのは安倍政権だ。(官僚が)ウソや隠蔽を平気でやり、モラルが大崩壊だ」と気勢を上げた。

国民民主党 2019年01月29日 20:38

【院内集會】「アベノミクス自体が偽装だ」野党合同集會で、原口一博国対委員長



政府による統計不正などを追及する野党合同集會(「統計不正・賃金偽装 真相究明 野党合同院内集會」)が29日、国会内で開かれ、国民民主党の原口一博国対委員長、自由党の日吉雄太国対委員長ら野党幹部があいさつした。

原口国対委員長は「去年の6月、21年5カ月ぶりに実質賃金が上昇した、というニュースがあった。最初は3.6%、確定値で3.3%。それが2.8%に減って、今日はもう1.4%だ。皆さん、賃金伸びていないじゃないですか。実質賃金はマイナスだったじゃないですか。それにもかかわらず伸びた伸びたと言わ

れながら、消費税まで増税させられる。その大本となる根拠が統計だ。統計は命であり、社会の体温計、われわれの政策の基礎だ。それをこんな改ざんをやっていた」と政府を糾弾した。

続けて「先日の与野党の国対委員長会談では、与党にこの問題をどう解決するか聞いたところ、与党は『正しく情報開示させ、正直に言います』と言った。それがこれです」と真っ黒に塗りつぶされた役所の資料(いわゆる、のり弁資料)を見せて「これでどうやって検証できますか?」と与党の対応に疑問を投げかけ、根本匠厚生労働大臣らの辞任を求めた。

自由党の日吉雄太国対委員長もあいさつに立ち「大きく分けて2つの問題がある。一つは、もらえるはずの給付金が正確に支給されていないこと、これからも正確に計算されない可能性がある。そういった中で、どのような対策を講じていくのか、そのためにも全容をしっかりと解明する必要がある。もう一つの大きな問題は、なぜこのような不正が行われたか、ということだ。21年ぶりの実質賃金の伸び、これがうそだということが判明したが、安倍総理はこれを世界中に向けて発信している。とんでもないことだ。だれが何のために不正を行ったのか。しっかりと追及しなくてはならない」と語った。



自由党の日吉雄太国対委員長

最後に、アベノミクスの賃金偽装と「消えた給付金問題」の真相追及をするために、全員でガンバロウコールを3唱し、野党合同院内集會は幕を閉じた。



全員でガンバロウコールを3唱して野党合同集會は終了

自由党 2019年1月29日

「統計不正・賃金偽装 真相究明 野党合同院内集會」開催



1月29日、野党6党派による「統計不正・賃金偽装 真相究明 野党合同院内集會」が国会内で開かれた。

自由党を代表して発言した日吉雄太国会対策委員長は「この問題は大きく分けて2つある。

1 つは、本来もらえるはずの給付金が正確に支払われておらず、今後も正確な計算ができないかもしれないこと。もう 1 つは何故こんな事が起きたのかということ。国民に痛みを与えてまでも自分のお友達に便宜をはかりアピールする。これはもう安倍政権のお家芸といっても良い。我々野党は国民に痛みを与えて平気な顔をする安倍政権に対峙し、国民に寄りそう、国民の側に立った政治を目指す。野党は 1 日も早い安倍政権の打倒のためにこの勤労統計問題でも一致結束して戦おう」とアピールした。

統計不正 野党側がヒアリング 調査自体を疑問視する声相次ぐ NHK2019 年 1 月 29 日 14 時 51 分



厚生労働省の統計不正問題をめぐって、野党側のヒアリングが行われ、第三者委員会が行った聞き取り調査に厚生労働省の官房長らが同席していたことについて、調査自体を疑問視する声が相次ぎました。

この中で、出席した議員からは、第三者委員会が行った聞き取り調査に厚生労働省の官房長らが同席し、質問も行っていったことについて、「第三者性がなく調査報告自体をやり直すべきだ」とか、「調査結果を一度認めた委員が再度調査をやっても、信頼性に欠ける」などと、今回の調査自体を疑問視する声が相次ぎました。これに対し厚生労働省の担当者は『認識が甘かった』という指摘はそのとおりだ。幹部が同席したのは、退職した職員に『しっかり説明してください』という意味だった』などと釈明しました。徹底した国会審議求める方針確認

このあと野党 6 党派の集会が開かれ、真相の究明に向けて、政府・与党に、徹底した国会審議を求めていく方針を確認しました。国会内で開かれた集会には、野党 6 党派の国会議員およそ 70 人が参加し、立憲民主党の辻元国会対策委員長は「公文書は改ざんし、統計の不正も明らかになった。政治の土台が壊れ、社会の底が抜ける事態だ。しっかりと真相を究明しなければならない」と述べました。

また国民民主党の原口国会対策委員長は「アベノミクス自体が偽装だが、アベノミクスをはかる数字まで偽装している。根本厚生労働大臣は、もう辞めさせようではないか」と述べました。共産党の穀田国会対策委員長は「国会の行政監視機能が問われている。与野党を超えた真相究明が責務で、安倍政権の責任は極めて重大だ」と述べました。

そして集会では、真相の究明に向けて、政府・与党に徹底した国会審議を求めていく方針を確認しました。

自民 下村氏「憲法改正 通常国会で発議困難も議論を」 NHK2019 年 1 月 27 日 18 時 09 分



憲法改正をめぐる、自民党の下村憲法改正推進本部長は松山市で講演し、28 日に召集される通常国会で、自衛隊を明記するための改正の発議は難しいという認識を示す一方、各党が案を提示して議論が進むことに期待を示しました。

この中で下村憲法改正推進本部長は「この国会で、自衛隊の 9 条の問題を 3 分の 2 の賛成を得て発議するのは、時間的、内容的にハードルがある」と述べ、28 日に召集される通常国会で、自衛隊を明記するための憲法改正の発議は難しいという認識を示しました。

一方で、「自民党がまとめた 4 項目の憲法改正のイメージ案には、ほかの項目もある。まずは国会の憲法審査会で広く議論することによって、そこから深掘りできるような環境をどう作っていくかが問われる」と述べました。

そして、「各党がいろいろな案を出し合って、議論できそうなテーマを絞って一つ一つ議論してもらいたい」と述べ、通常国会で各党が案を提示し議論が進むことに期待を示しました。